

# 令和2年3定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和2年9月23日

質問者 日本共産党 宮川 潤 議員

担当部課 総合政策部政策局総合教育推進課

質問要旨	答弁要旨
<p><b>七 教育問題について</b></p> <p><b>(一) 少人数学級の実現について</b></p> <p>政府の教育再生実行会議が8月25日に開かれ、委員から「少人数学級を進め、30人未満の学級にしてほしい」との意見が出ました。会議後の会見で萩生田文部科学大臣は「多くの人が方向性として共有できる課題ではないか。できることから速やかに行っていきたい、という意欲は持っている」と述べています。</p> <p>わが党もかねてから少人数学級の実施を求めてきましたが、知事及び教育長のお考えを伺います。</p>	<p><b>【知事】</b></p> <p>少人数学級についてであります。一人一人に目が行き届き、きめ細やかな指導が可能な少人数学級編制は、子どもたちの心身の健やかな成長を支える教育環境の充実を図る上で、有効であると認識をしております。</p> <p>こうした中、道教委では、小中学校における35人以下学級の対象学年を順次拡大してきており、また、国においても、ポストコロナ期を見据えた少人数による指導体制の整備などの議論が進められているものと承知をしております。</p> <p>道としては、こうした国の動向も注視しながら、少人数学級編制の更なる拡大に向け、教職員定数の改善を国に要望するなど、引き続き、全国知事会や道教委とも連携しながら、教育環境の一層の充実に取り組んでまいります。</p>